



「道を拓く」

今年11月オープンした徳真会クオーツタワーは、徳真会という組織の枠を超えて世界の歯科界でも前例の無い、歯科の概念を変える施設として大きな意味を持つ施設となっております。昨年出版させて頂いた「どうする医療制度改革」でも述べさせて頂いておりますが、日本の歯科医療は現在、様々の根深い問題を内包しています。

大きく分類すると

1つ目が医療財源の破綻

2つ目が制度疲労

3つ目が教育の歪み

だと捉えています。

徳真会の35年の歴史はこうした大きな課題に対して、医療機関としての立場から自助努力の中で解を見出し、形として実証、具現化する為の挑戦の歴史であると自負しております。

国家への依存度を下げ、患者様の負担を上げないで、多様化した患者様のニーズに対応出来る組織運営を目指す中で、このクオーツタワーを創る意思決定をしたのは約3年前でした。しかし、意思決定はしたもののこの物件を形にしてゆく上で、様々な大きな課題をクリアしなければならない日々が続きました。ヒト、モノ、金、そのすべてが充分でない中で、有るのは「世界で最も優れた歯科医療グループ」をこの日本から創り上げなければならないという「志」のみでした。

結果、多くの方々の力を借りて完成したのがこのクオーツタワーです。

このクオーツタワーでは最先端の歯科医療が総合的に、安心して受診できる体制が出来ています。

治療費も保険診療から適正価格の自由診療まで揃っており、また、特別なサービスやニーズを持たれた患者様や外国の患者様対応も可能なフロアーもあり、一流の専門医、豊富な臨床研修を積んだ一般医とスタッフ約100名が、あらゆる患者様に対応可能な施設となっております。

また、最先端の機器を揃えた医科(内科、整形外科、皮膚科、頭痛外来)も併設しており、患者様を全身にわたり総合的に治療し、ケア出来る施設にもなっております。

加えて、子育て中の患者様には、保育士が常駐する託児室(無料)も備えており、アジア最大の徳真会グループが自信を持って完成させた施設でもあります。

既存の徳真会グループの施設との連携も出来ており、より充実した医療の技術とサービスを提供出来る体制も整えております。

私は、この徳真会クオーツタワーは一つの「桶狭間の戦い」だと思っております。

今川義元なる敵は、歯科とはこんなものだという固定概念。歯科にこんな事は出来っこないという常識という非常識……。そうした今日迄の歯科に対する固定概念を大きく変えて、歯科医療の新たな可能性を切り拓く大きな挑戦でもあります。

既存の徳真会の施設と共に、多くの皆様へ、お気軽に御活用頂ければこれに過ぎる喜びはありません。

徳真会グループ
理事長 松村博史



撮影：松村理事長